

第72回 公開講演会 市民講座

かぜ薬を 求める 若者たち

～市販薬・処方薬依存のしくみ～

2025年

3月1日 土

10:00～11:30

(開場 9:30)

会場

公益財団法人 井之頭病院
1号館9階大会議室

講師

神奈川県立精神医療センター 副院長
小林 桜児 先生

定員

60名 (申込不要・先着順)



問合せ先

公益財団法人 井之頭病院 公開講演会事務局
東京都三鷹市上連雀4-14-1 TEL 0422-44-5331(平日9時～17時)

主催

公益財団法人 井之頭病院

後援

三鷹市、三鷹市医師会、武蔵野市

かぜ薬をを求める若者たち

～市販薬・処方薬依存のしくみ～

ドラッグストアで売られているかぜ薬などの市販薬や、医療機関で処方される睡眠薬、抗不安薬、鎮痛薬などを、決められた回数や量を超えて服薬し、乱用や依存につながるケースが若い人たちに広がっています。過剰な量を服薬することを意味する「オーバードーズ」、「OD」という言葉も広まっています。

眠れないとか、不安、ゆううつな気分をやわらげるために服薬することもあれば、いろいろな不安全感があり、自暴自棄な気分になって服薬することもあります。誰にも相談することができず、ひとりで抱え込んで心理的に孤立している人もいます。市販薬や処方薬の乱用や依存の行為そのものをやめる(やめさせる)ことばかりに目を向けるのではなく、背景にある不安や孤立、孤独に目を向けることが不可欠とされています。

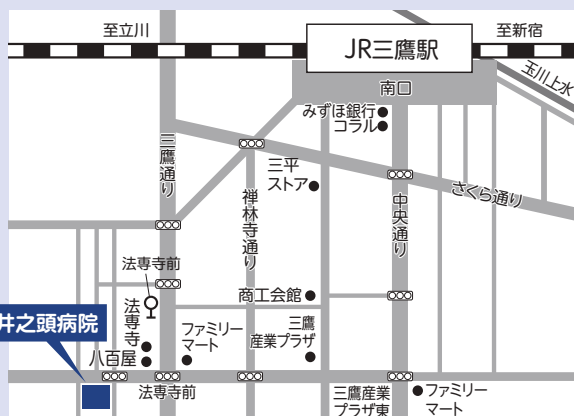
今回は、薬物依存の臨床や研究に長年従事されている小林桜児先生を講師にお迎えします。市販薬・処方薬依存とはどんなものなのかについて、一緒に考えていきましょう。

講師紹介



神奈川県立精神医療センター
副院長
小林 桜児 先生

精神科医。2000年信州大学医学部卒。横浜市立大学附属病院・同市民総合医療センターで臨床研修後、NTT東日本伊豆病院、神奈川県立精神医療センター旧せりがや病院、同芹香病院に勤務。旧せりがや病院では、薬物依存症を対象とした集団治療プログラム(SMARPP)の開発に携わる。2009年4月から国立精神・神経医療研究センター病院精神科に勤務後、2013年4月に旧せりがや病院に戻る。2014年12月の病院統合後は、神奈川県立精神医療センター依存症診療科に勤務。2021年4月より同医療センター副院長。現在、副院長兼医療局長兼臨床研究部長。著書に、「人を信じられない病 信頼障害としてのアディクション」など。



会場 公益財団法人 井之頭病院 1号館 9階大会議室
東京都三鷹市上連雀 4-14-1

交通案内

- JR 中央線・総武線、地下鉄東西線 三鷹駅南口下車徒歩 10分
- 小田急バス 三鷹駅南口 → 「三鷹第3小学校入り口」下車
- 小田急バス 調布駅北口 → 「法専寺前」下車

問合せ 公益財団法人 井之頭病院 公開講演会事務局
TEL 0422-44-5331

後援 三鷹市、三鷹市医師会、武蔵野市